

長田区会

ボランティア体験記

滝谷ホーム

国2-長 たなか よしお

1月14日20:00から同15日8:00までの宿泊勤務である。場所は市バス150系統「滝山町」下車、歩いてすぐのところである。(編注:10ページの略図参照)標高はどのくらいかわからないが、瀬戸内海が眺められ、気温は平地に比べて、若干低い。

午後2時から夜8時までは、賄いの女性の方が一人で、明朝の食事の準備までして夜9時前のバスで西鈴蘭台まで帰られる。その後明朝8時までは軽度身障者4人に夜勤者(筆者)が加わって5人で過ごすことになる。

4人中1人は正月に自宅へ帰ってそのまま休みであり、結局当夜は私を加えて宿泊していたものは4人であった。

これは身障者の自立の訓練のために、新しくできた施設であると聞く。居住者の年齢は30才から50才くらいまでに自分には見えだが、その中2人は、しあわせの村の作業場へ、1人は東灘の公園墓地へ作業に出かける。出勤は7時から8時まででそれぞれ時間が違う。中に1人、なかなか出てゆくのが億劫な人がいるらしいが、この人はちょうど今日が休みであった。

夕方は食事後で1人をのぞいて後の2人は部屋にこもっていたので姿

を見せず、1人だけが机の前に座して9時過ぎまで起きていた。

朝は7時に出かける2人が自分と一緒に朝食をしたが、それぞれあと片づけをして流し台もきれいにしてお発した。1時間遅れで出発する1人はその後1人で食事をして食堂に掃除機をかけて出かけた。後は規則通り戸じまりをして8時過ぎに私は退場したが、総体に自分自身ですべてを片づけて、出て行くよういい習慣をもっているように思われた。

グループ“わ”以外に学生アルバイトが交替にきているようで、それらの記録を見ると宿泊者同士が口争いをしたこともあったらしいが、初めてのことでそういうトラブルは私にはわからなかった。しかししばらくこの業務を続けるといろいろな人間関係が見えてくるであろう。

しかし基本的に彼らの自立を助けるという目的は忘れてはならない。

場所は付近一帯に駐車場があって民家がなく、特に夜間はいざというときには不便で用心が悪いということは、賄いにきておられる女性の方も言っておられたが、これは確かにそうであった。



垂水区会



矢田神戸市長(右)と中島さん

“わ”相談役中島洋吉さん 神戸市環境功労賞を受賞

中島さんは、平成10年3月にオープンした垂水区恋人岬のピオトープの造成期より参加し、その管理組織の立ち上げに努力され、シルバーカレッジ在学中より福田川にかかわり、その成果を冊子「福田川を歩こう」に纏め、流域の小学校を中心にその冊子を配布すると共に児童達に自然の大切さを伝える等、長年の環境保全および啓発活動が評価され、その功績に対し、昨年12月14日(土)垂水区レバンテホールで「神戸エコ市民フェスタ」が行われた際に、多くの市民が参加する中、矢田神戸市長より神戸市環境功労賞が手渡されました。

有馬湯殿館&工房館ボランティア募集

現在有馬湯殿館において、毎週金、土、日、祝にガイドボランティアをAM10:00~16:00まで二人で行っています(一人1000円)。ローテーションを組み、月1回ぐらいの予定で行っています。

4月に工房館(元保養所)がオープンの予定で工事が進んでいます。完成後、工房館も湯殿館と同じように二人づつ、詰めるようになります。

工房館は毎週土、日、月曜日3日間となります。

現行のメンバーでは参加日の都合上無理が生じますのでボランティアをして頂ける方を募集しますので、ご参加頂ける方は至急ご連絡ください。問合せ、連絡はグループ“わ”事務局大坪迄 078-743-8101